

墨田区のお知らせ2013.8.11 NO.1719 (毎月1日・11日・21日発行)

すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなど、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2～4面…すみだ地域ブランド戦略「すみだモダン」
- 5面…は～もに～
- 6面…すこやかライフ
- 7・8面…講座・教室・催し

すみだと全国の旬間歳時記

●すみだ音頭

昭和52年に区政施行30周年を記念して作られた。すみだの今昔を表現した歌詞は、区民からの公募により決まったもので、親しみやすく、郷土愛を育む内容となっている。毎年、区民納涼民謡大会や、区内の盆踊りなどで太鼓の音とともに、すみだ音頭の名調子が響き渡る。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

“地域の夢を乗せ未来へ進む船”が10月に開館 本所地域プラザ“BIG SHIP”

協治(ガバナンス)の理念に基づき、施設の運営を区民の皆さんと区が協働して行う「本所地域プラザ“BIG SHIP”」が、10月1日に開館します。みんなで意見を出し合いながら、この地域プラザを、地域の課題解決やコミュニティ活動の拠点として活用し、地域のつながりの輪をさらに広げていきましょう。



船の帆をイメージした外観デザイン

協働で創る“地域プラザ”です

地域プラザは、協治(ガバナンス)の理念に基づき整備される、地域による地域のための施設です。10月1日、区内で2番目の地域プラザとなる「本所地域プラザ“BIG SHIP”」が開館します。

この地域プラザが、地域の課題解決やコミュニティ活動の拠点となるよう、整備に当たっては、施設の設計や運営方針などについて、協治(ガバナンス)の担い手である区民の皆さんと区が協働で検討

を重ねてきました。開館後は、地域の実情に柔軟に対応するため、検討の中心となっていた「本所地域プラザ運営協議会」から移行した、区民の皆さんによる「一般社団法人 地域プラザ BIG SHIP」が施設の管理・運営を行っていきます。

この「本所地域プラザ“BIG SHIP”」を、新しい仲間づくりの場などとして活用することで、地域コミュニティの輪をさらに広げていきましょう。

【問合せ】区民活動推進課区民活動推進担当 公5608-6202

■協治(ガバナンス)とは

「区民、地域団体、NPO、企業、区など多様な主体が、それぞれ果たすべき責任と役割を自覚しながら、ともに考え行動することで、地域の課題の解決を図ろうという社会のあり方」のことです。地域プラザの場合は、利用者である地域の人々と区が、協働で施設の設計や運営の方法を考え、実際の事業や運営に携わることで、地域の課題などに対応することを意味しています。

本所地域プラザはこんな空間を備えています

空の空間

屋上 屋上は“自然との共生”がテーマです。「緑化スペース」では大空の下、緑の中で憩いのひとときを過ごすことができるほか、生き物の観察や植物の栽培も楽しめます。

音の空間

4階・5階

コンサートや演劇など様々な催しに使用できる、音響設備が充実した「多目的ホール」や、歌・演奏・踊りなどの練習に使える防音設計の「スタジオ」を備えています。

動の空間

3階

「トレーニング室」では、簡単な柔軟体操から器具を使った本格的な筋力トレーニングまで様々な運動ができ、指導員から器具の正しい使い方を教わることもできます。

知の空間

2階

「学び合い体験室」では、ものづくり体験や理科の実験等、楽しく体験・学習ができる催しを行います。また、読書などができる「自習コーナー」などもあります。

交の空間

1階

「イベントスペース」では、誰もが気軽に立ち寄り交流できるような催しを行います。また、料理教室などで使える「調理室」や、テラス席のある開放的な「カフェ」もあります。

■本所地域プラザの概要等

- 【所在地】**本所1-13-4【利用時間】午前9時～午後9時
- 【開館予定日】**10月1日(火)
- *会議室などの有料施設の貸出しは10月7日から(予約方法等は区ホームページに9月掲載予定)【休館日】月1回の館内整理日



地域プラザを気軽に集まれる“地域の拠り所”にしたい 一般社団法人 地域プラザ BIG SHIPの皆さん



開館に向けて、協治(ガバナンス)についての勉強会から始め、どんな施設にしたいか、施設を活用してどんな地域にしていきたいかを話し合いました。会議を重ねる中で「みんなの笑顔が集まる施設にしたい」という思いが強くなり、夢が大き

広がっていきました。企画から携わったことで、地域の声を施設に反映できたと思います。

“BIG SHIP”という名前には、「地域みんなが互いの知恵と力を持ち寄り、より良い地域の未来をめざして航海を進める大きな船」という意味を込めました。“催しがあるから集まる”だけでなく、“いつでも気軽に立ち寄れる”地域の拠り所になるよう、今後も“地域力”を発揮して運営をしていきます。